



### 密着取材① デイサービスセンター訪問

介護保険実施前の、最後の訪問取材。とくにデイサービスは4月以降、利用法が大きく変わります。その違いに注目しました。

### 従来型デイサービスの最終月に

今回の訪問は、社会福祉法人が運営するデイサービスセンターです。3月半ばを迎え、4月からの介護保険実施までいよいよカウントダウン。スタッフはその準備にたいへん苦勞の最中でした。

でも、お年寄りが楽しみにするデイサービスは、きょうもなごやかに実施されています。多くの方がいちばん喜ばれるのが、安心して入れる入浴サービス。お風呂上がり

りに昼食、そしてリハビリ兼レクリエーション。ここのサービスの特徴は、利用者の意志を尊重し、各自思い思いに時間を過ごせること。本日のレクリエーション・メニューにこだわらず、手芸やおしゃべりを楽

しむ方、将棋板を囲む男性グループなど、あちこちでいろんな過ごし方をしておられます。

### デイサービスはこんなに変わる!

これまで訪ねた市街地のデイケアに比べ、今回のデイサービスに車いす利用の方が多

いのは「介護保険実施前までは、デイサービス利用に規定があったため」とのこと。保険実施以前は福祉事務所に申し込み、条件を満たす人だけが地域内の施設を紹介される仕組みだったのです。

では、介護保険でどう変わるかというと…デイサービスはデイケアとともに「通所サービス」に区分され、デイサービスは「通所介護」、デイケアは「通所リハビリ」と呼ばれます。そして



福祉事務所への申し込み・市の委託施設紹介という形式は廃止。介護サービスはケアマネジャーと相談しながら利用者が選んで、ケアプランとして契約することになります。

どこのデイサービス(通所介護施設)に行くかを自分で指名できる、これが介護保険の長所です。だからこそ、それぞれの施設のサービス内容や特徴をしっかり比較検討したい! ご本人とご家族で納得のいくケアプランを立てるために、これからもこのコーナーをご愛読ください!

はケアマネジャーに相談してみましょう。

### Q.料金はどう変わる?

いちばん気になる点ですが、京都市に限らず全国的に、従来より割高になると予想されています。行政措置であった従来は、デイサービスは税金でまかなわれ、一般利用者は自己負担額1000円(特殊浴利用者1500円)だけで利用できました(おやつ代、教養娯楽費などの個人負担分)。介護保険実施後は、この自己負担額は1000円以下(500~800円程度が多い)と割安になる施設が多いようですが、加えて介護保険の1割負担が必要で、そこで結果、割高になる施設が多いといわれています。しかし自己負担額は自由設定ですので、施設やサービスの質により、今後はさまざまな料金体系が生まれるでしょう。介護サービスも消費者の目で、金額とそれに見合ったサービスの質であるかどうかを見分けることが必要になります。

### ●3月13日の訪問地

左京区大原戸寺町

### ●3月13日のデイサービスご利用者

18名(うち男性5名、平均78歳、100歳以上の方2名)

### ●デイケア・スケジュール

- 9:30 送迎バス・リフト車4台が到着、健康チェック(血圧・体温・脈拍等)、入浴サービス
- 12:00 昼食・休憩
- 13:00 レクリエーション(途中おやつタイム)
- 15:30 帰宅準備~帰宅へ

### お便りください

和音は、あなたとつくる暮らしと介護の交流誌。どなたでも、自由にご参加ください。お待ちしております。介護体験やエピソード

ただいま介護中の方も、介護で苦勞した経験のある方も。失敗談、困ったこと、悩みや迷い、いろんなエピソードをひと言、後輩たちに聞かせてください。

■〒住所・氏名・年齢・お電話をお書きください。誌面では匿名でも結構です。

■掲載分には薄謝進呈。

### 介護保険Q&A ミニブックを10名様にプレゼント

■和音や介護保険へのご感想などをそえて、ハガキ(メールでもOK)で下記へ。抽選で10名様に、介護保険をQ&A形式でまとめたミニブック(基本調査の全質問85項目掲載)をお送りします。

■ミニブックは毎日新聞発行・A5版32P



0120-29-9150  
TEL (075) 724-9150  
FAX (075) 724-1400  
Eメール:k-s-c-s@mbox.kyoto-inet.or.jp  
URL:http://web.kyoto-inet.or.jp/org/k-s-c-s/waon/waon.html  
〒606-0817  
京都市左京区下鴨西陣町6上堂ビル1F  
□午前9時~午後8時/年中無休  
□下鴨本通り西側、最寄りバス停は「下鴨神社」

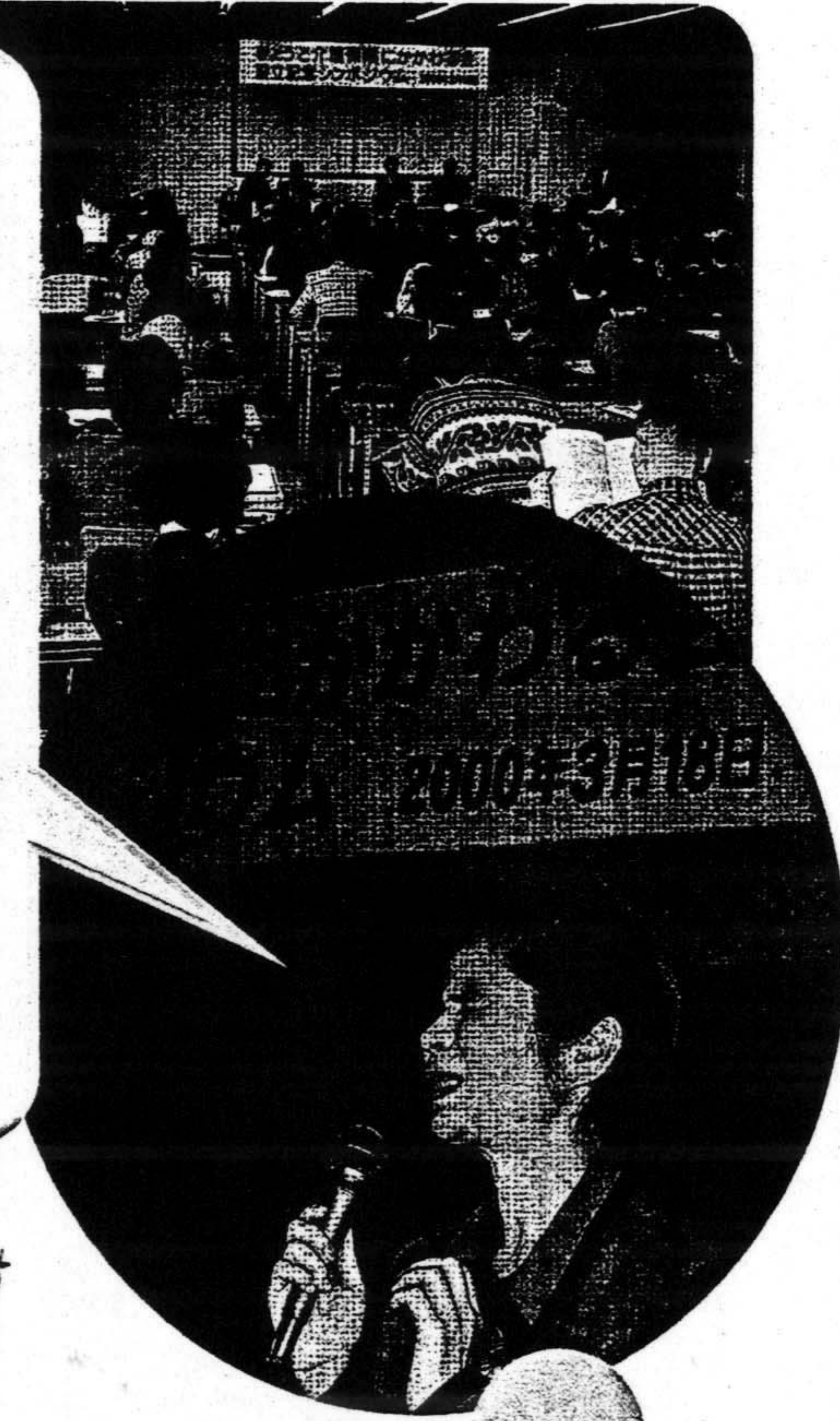
# 和音



No.11 APRIL

京都下鴨「和音」編集室 京都総合ケアステーション内 〒606-0817 京都市左京区下鴨西陣町6 上堂ビル1F  
TEL (075) 724-9150 FAX (075) 724-1400 http://web.kyoto-inet.or.jp/org/k-s-c-s/waon/waon.html

介護保険は、利用者が主役  
「もともとこうなれば、こうしたい」  
私たちの思いを声にしてしよう



いよいよ今月から介護保険スタート。国ではなく市町村が主導で、介護サービス事業者が新しく参入し、そして何より、私たち利用者が「サービスを自分で選ぶ」という、新しいことづくめの制度。いざ動き出すと制度の不備も目立ち、当初は混乱も予想されます。とはいえ介護の社会化はもはや不可欠。ならば私たち利用者も人まかせにせず、よりよい介護保険に仕上げる橋渡しをしよう——こうして各地に生まれつつあるのが介護保険オンブズマン。そして京都にも、オンブズマン組織が誕生しました。

●「オンブズマン」はスウェーデン語で「権利の擁護人、代弁者、代理人」の意味。介護保険オンブズマンは利用者の立場から介護サービスの内容などを調査することでサービス提供の状況を監視し、事業者が提供するサービスの質の向上を図ることが狙い。

### 京都のオンブズマン設立集會に予想を上回る市民が参加

京都にオンブズマン組織誕生ということで、驚くほどたくさんの方が来てくださり、たいへんうれしく思っています。と同時に、京都にもこういう組織が必要なんや、みんなが求めていたんや、と思うと会を立ち上げた重みを感じます。

私たちの会は3月3日に正式発足。3月18日に京都社会福祉会館で設立記念シンポジウムを開催しました。大会議室の後ろの席まで満員で、さすがに足りなくて心配したほど。資料を100部用意したんですが、参加者200名ということで私たちのほうが大あわて。正直言って、こんなに反響があるとは思っていませんでした。

### 白紙の状態から始まった市民グループ”勝手連”

会のメンバーはもともと、堀田力・樋口恵子両氏を代表とする「介護の社会化を進める1万人市民委員会」で勉強してきた京都在住者が中心です。大阪の「介護保険市民オンブズマン機構」もそこから発展的に生まれた組織ですが、その際に「京都も独自の組織をつくっては?」という声があがったのが昨年の夏でした。といっても、京都からの参加者は10名足らずで、み

### CONTENTS 目次

interview ●きょうと介護保険にかかわる会

井戸端トーク ●読者のお便り

■介護保険を利用する立場から

■家で介護するということは

■私はデイケアの看護婦

■介護のTVドラマから

プレゼント ●介護保険ミニブック

密着取材/デイサービスセンター

「和音」は京のまちの安心のハーモニー。医療、保健、福祉が地域の人と暮らしにすこやかな音色を奏でながら、それがひとつの和音となって、介護するところに集約に響きわたることを願って名づけました。

### INTERVIEW

ONBUZMAN  
介護保険にかかわる会  
(代表 梶寿美子さん)

●和音インタビュー 第11回

発行日 ●2000年4月 発行 ●京都総合ケアステーション和音編集室 編集 ●株式会社パソナフォスター株式会社ウード

定期購読 3ヶ月 送料別

生活が介護を必要とする人を支える「和音」の目に入りました。今春からの介護保険のスタート、実際に役立つ介護情報、私たちの手で育てたいと思います。お申し込みは当ステーションまで!

# 大阪にも、滋賀にも、オンブズマン結成の動きがあるのに… この京都でも、誰かが声を上げなくては、と一大決心。

●んな初めての顔合わせ。私はお琴を弾いてますし、定年退職されたビジネスマン、元公務員、現役の看護婦さん、現在介護中の主婦…と職業もさまざまです。私自身は主人と一緒に京都さわやか会(京都出身・堀田力氏代表のさわやか福祉財団サポーターグループ)でボランティア活動などをやっていますので、主人が1万人委員会に参加していましたし、委員会にはほかに「高齢社会をよくする女性の会」(代表・樋口恵子氏)の関係の方や、他の団体、個人の方もおられます。土台になる組織があるわけではなく、本当に「勝手連」的な市民グループです(笑)。

## 本当はボランティアのみんながオンブズマン

オンブズマンって、べつに堅苦しく考えることではないと思います。私たちは毎月お年寄りの施設にボランティアに行っていますが、行くときには事前をお願いをして、すると施設のほうでも準備万端整えて待っていてくださる。これでは逆に手間をおかけしているようで、気軽にボランティア、というわけにはいきません。でも本当は近所のおばちゃんが「ちょっと手が空いたし、お手伝いここにきたわ」って、いつでも手伝ってこそボランティア。そうしてボランティアさんが自由に入出入りしていれば、施設もいい加減なことではできないはず。いつも手抜きしないできちんとして、そしてお手伝いの手がふえれば、施設にとっても介護がラクになります。そういう開放感のある施設が



梶寿美子●会の代表。ご主人の娘さんと「さわやか福祉財団」の活動に参加。お年寄りの施設でボランティア演奏する機会もふえた。

ふえてほしい。そうなれば、ことさらオンブズマンと言わなくても、ボランティアのみんながオンブズマン。どんなことでも口コミで自然に伝わる、それでいいんじゃないでしょうか。

## 4月10日・13日、皆さんの希望をしゃべりに来てください!

いまの介護保険は完全ではない、と国も自治体も言っています。これから手直しをしながら、よりよいものに変えていこう、そこに市民の側からも参加しましょう、というのが私たちの立場です。「きょうと介護保険にかかわる会」の「きょうと」は、京都市内に限らず長岡京、宇治など周辺市町村も含んでいます。介護保険制度の中身は市ごとに違いますが、実際に介護施設やサービスを利用するときには、広範囲で考えるほうが私たちの生活と行動範囲に合っています。ですから市内とその周辺にお住まいの方、ひとりでも多くの方に参加してもらいたいと思います。

次の集まりは、4月10日と13日です。この2日間は昼間(14~16時)と夜(18~20時)の2回に分けて、現在連絡先を置いている京都自治総合研究所(中京区烏丸丸太町・下記参照)で、私たち運営委員が皆さんをお待ちします。参加を希望される方々にどちらかの日に来ていただいて、ご意見やこの会に望むこと、会でやってみたいことなど、いろんな話を出してもらおう、そしてそれらを集約して会の方向性を決めていこうと思っています。それでこそイチから始めた市民グループのよさでしょう?

## 介護されてきた私が 痴呆の母を介護してきた

私も87歳の母を介護しています。現在は老健施設に入っていますが、入所できるまでがたいへんでした。痴呆の症状が出始めたのは、いまから思えば10年以上前。一

プロフィール●かじ・すみこ  
1947年京都市生まれ。作曲家。全盲のため幼少より伝統的琴曲を学び、大阪音楽大学琴専攻科卒。琴曲指導の傍らアンサンブル・プリマルーチェを主宰し国内外でコンサート活動。乳がん克服、結婚を前後して母に痴呆の症状が現れ10年来の介護中。

番身近にいる私が一番気づくのが遅かったんです。私がつき添って、泉涌寺から北区のはずれまで市バスでデいに通いました。

でも、全盲の私は小さい頃から母に介護される立場でした。その私が今度は母を介護することになって、たくさんのお母から教わりました。いろいろたいへんだったけれど、でも母のおかげで、今度はこのオンブズマンの会の代表まで務めることになりました。定年を迎えた夫婦が、海外旅行を楽しんだりするでしょう。そんなつもりで、私たちはこのオンブズマンの会を楽しもうって主人に言ってるんです。やりがいがあるし、少しでも私たちの力がお役に立てば、こんなにうれしいことはありません。



外山登治●事務局長。企業を定年退職後、夫婦で父母の介護に奔走。母秋、父を見送ったのち「夫の介護体験」をもって会に参加。

### インタビュー後記

琴奏者として知られる梶寿美子さん。全盲ゆえに閉ざされがちだった教育の門を熱意で開いてくれたのはお母さんでした。寿美子さんは京都府立盲学校幼稚部のひとりだけの第1期生。大学受験では、芸術系大学初の点字受験者。以来、母校の大阪音大では視覚障害をもつ多くの後輩が学んでいます。その母が痴呆とわかったときのショック。長年介護される立場にあった彼女が介護する立場に回ったときの思い。さまざまな症状と付き合ってきた苦勞…。寿美子さんご自身の介護体験は今回お伝えすることができませんでしたが、機会があれば再びご登場いただく予定です。5月13日、「痴呆の母から学んで」と題した梶さんの講演が西陣公会館(上京区堀川通今出川下ル)で予定されています。

## 京都に生まれた介護保険の市民オンブズマン組織 「きょうと介護保険にかかわる会」とは

- 年会費 ● 個人会員 3000円(学生会員1000円)  
団体会員 1万円(当会にご賛同いただく法人またはサービス事業者)  
\*金額は1口あたりでいずれも1口以上。
- 連絡先 ● 〒602-0867 京都市中京区丸太町烏丸西入北側  
NHKビル3F 京都自治総合研究所内  
FAX.075-252-0357  
Email:klink@kyoto-kaigo.org
- お問合せ ● 〒605-0974 京都市東山区泉涌寺五葉ノ辻町6  
梶寿美子(代表) TEL&FAX.075-561-3832



オンブズマンの制度は、もともと福祉大国スウェーデンが発祥国。日本でも国や自治体のレベルで介護サービス・オンブズマンに取り組む動きや、また市民オンブズマンとして市民自身が担い手となるケースなど、さまざまな動きが活発化しています。



## 読者への便り

呆け老人をかかえる家族の会の会員となって8年目。家族の会の会報も毎月読んでいたので、和音2月号で拝見できてよかったです。子どもの頃から寝たきりの祖母を家族介護し、結婚後は主人の母が老いて痴呆から寝たきりになる過程をずっと看取り、亡くなってからはヘルパーをしたり、いろんなボランティアをしたりして、お年寄りの孤独や寂しさを少しでも理

解しようと思っています。介護保険はビジネスチャンスかもしれないけれど、「ケアマネジャーは介護を経験された方がよい」との意見に私も同感です。あいさつも共感もせず、資格や経験を振りかざすだけの人には任せてはおけないし、介護保険を利用する側の情報やネットワークづくりがなんとしても大切です!

介護保険導入に向け、毎日忙しい日々です。デイケア利用者の方から保険についての質問を受けます。文面では何回も介護サービスに関して読み、理解していました。テレビの「おばあちゃん、壊れちゃったの？」を私も楽しく見ている(3月末で最終回)。家族みんなで見れるホームドラマが少なくなっている今、介護がテーマのお話はとても貴重。本当に、この家庭にでも起こり得る問題だと思えます。

ドラマでは、痴呆の実母を自宅介護することになった主婦(高島礼子)が、いつも明るい色の服を着ています。看護婦さんの白衣が真っ白ではなくて淡いピンクやブル

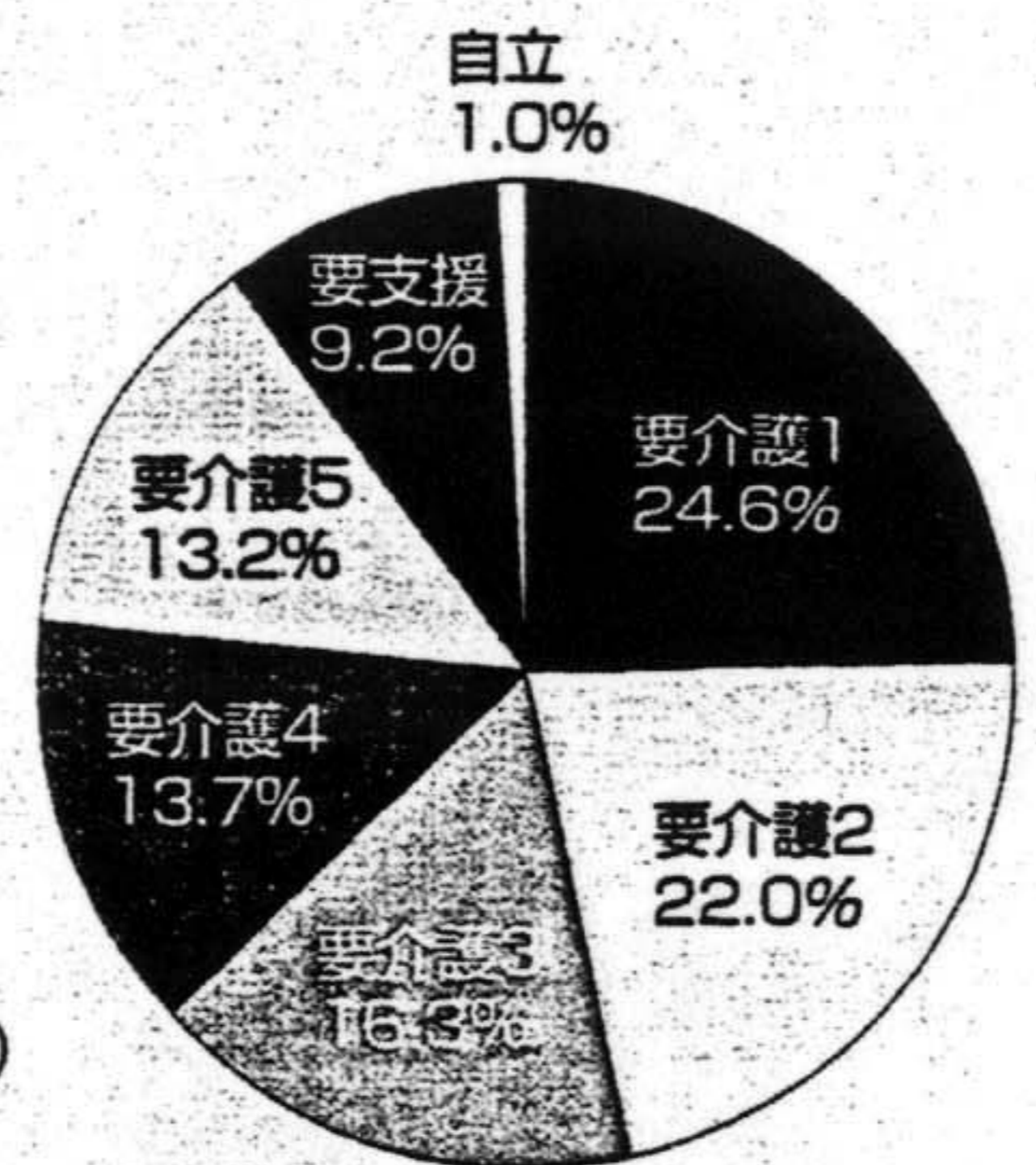
ーに変わってきているのと同じように、服の色からもやさしい印象を受けます。そして家族中が引っかき回されるような状態でも、家にはきれいなお花が飾られています。また、おばあちゃん(赤木春恵)がどんなに痴呆が進んでも、手鏡をのぞくことは忘れない…そんなところにもハッとさせられます。

このドラマを見ていると、私もこんな女性になりたいなと思うようなことがいっぱいあります。

## 暮らし情報

### 京都市の要介護認定結果はいま

平成12年1月末の状況です(京都市発表)  
申請受付●25846件  
認定済み●18476件



介護保険の制度と立場が... 下京区... 梶寿美子

私は「デイケア」の介護婦... 西陣区... 梶寿美子